

中津川市教育振興基本計画

学び、活かす市民

～ みんなで育つ幼児教育　生きぬく力を育む学校教育　～

「よりよいひとりだち」

方針

生活・学習における基礎基本の習得とたくましい子の育成

「知識 と 知恵」→「生きぬく力」

生きぬく力

- 基礎基本を身につけ、当たり前のことが当たり前にできる力
- さまざまな学習や体験を重ね、それを活かして判断、行動する力
- よく調べ、理解し、自分の考えを整理して伝え、広める力

重点

指導力向上

- ★教科指導
- ★ICT教育
- ★特別支援教育
- 道徳教育
- 外国語教育
- キャリア教育
- 特別活動

安全・安心

- 生徒指導
(★教育相談力)
- 人権教育
- 健康教育
- 防災教育

特色ある教育活動

- | | |
|---------------|------------------|
| ○学カアッププログラム | ○絆プラン |
| ○中津川市命の教育 | ○岐阜サマーサイエンス スクール |
| ○すご技中津川プロジェクト | ○生徒会サミット |
| ○園・学校の連携 | ○指導助手等の配置 |

★はR4年度特に大切にしたい取組内容

基盤となる教職員の構え

機能する組織

ともに考え　ともに動く

面倒見のよい先生

一人一人を大切にする

身に付くまで

丁寧に見届ける

3つのワーク

「チームワーク」を高め、「フットワーク」を軽く、「ネットワーク」を活かした動き

幼稚園・保育園・こども園 重点指導内容

★指導 「聞く力・話す力」「体験や環境の工夫」「見通しをもった指導」

- ・園児が「聞きたい」「話したい」と思える場を位置付け、「聞く力」「話す力」を付けるための継続的な指導を行う。
- ・園児が感じ、気づき、試し、表現することができる豊かな体験や環境構成（人・もの・こと）を工夫する。
- ・園児一人一人の特性や発達、学びの連続性を踏まえて、入園から就学までの発達の見通しをもった指導に努める。
- ・主体的に研修して、研修内容を園内で共有したり、保育事例や保育参観をもとにした園内研修を行ったりして、保育・教育力の向上に努める。

人権教育 「自他のよさや違いを認める」「思いやりと温かい人間関係」「保育士・幼稚園教諭自身の人権感覚」

- ・園児の実態を踏まえ、自他のよさや違いを認め合い、思いやりと温かい人間関係の醸成に努める。
- ・教職員自身が主体的に人権感覚を高め、人権教育の指導力の向上を図る研修を行う。

健康教育 「健康な心と体」「食育の推進」「食の安心・安全」

- ・園児が楽しみながら体を動かすことができる保育を工夫し、健康な心と体を育てる。
- ・園、家庭が連携して食育指導を行い、園児が食べることを楽しみ、食べ物への興味関心をもてるようにする。
- ・全教職員が食物アレルギー等食の安全に関する正しい知識を身に付け、適切な対応ができるよう研修の充実を図る。

防災教育 「防災に対する教職員の専門性の向上と安全管理体制の確立」「自他の命を守る意識の醸成」

- ・全教職員の防災についての専門性を高め、家庭・地域・関係機関と連携し、園児の「命を守り抜く」安全管理体制を確立する。
- ・発達の段階に応じて園児が自他の命を守る意識がもてるよう、様々な状況を想定して、命を守る訓練等の充実を図る。

小学校・中学校 重点指導内容

【指導力向上】

★教科指導 「資質・能力の育成を目指す『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善とICTの活用の推進」

- ・付けたい力を明確にした授業展開と出口が明確になる学習課題の設定を行う。
- ・資質・能力を習得するICTの効果的な活用を進める。

★ICT教育 「情報活用能力の育成」

- ・情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用するために必要な資質・能力の育成を図る。
- ・日常的に端末を活用できる環境を整え、様々な教科・領域の特質に応じ、ICT機器・教材を適切に活用した教育活動の充実を図る。

★特別支援教育 「一人一人の教育的ニーズに合わせた切れ目のない指導・支援・見届けの充実」

- ・一人一人の教育的ニーズを正しく理解し、学校・家庭・関係機関が連携して適切な指導・支援を行う。
- ・「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を整備・活用し、園・小・中の連携のもと継続的で一貫性のある指導・支援・見届けを行う。
- ・特別支援教育コーディネーターを中心として計画的、継続的に校内教育支援委員会を運営する。

道徳教育 「よりよく生きる人格の形成を目指す道徳教育の推進」

- ・道徳教育の目標・重点内容を中学校区で共有し、全教職員の協力体制のもと、教育活動全体を通じて道徳性が養われるようにする。
- ・ねらいを明確に道徳的諸価値の理解を自分との関わりで考えられるよう展開や発問を工夫し指導過程の中に、確実に後段の時間を位置付け、「自己の生き方について考えを深める時間」を十分に確保する。

外国語教育 「学級担任・専科教員が主体となる授業」(小)「研修の充実」(小)「小学校からの学びの連続性を踏まえた、『英語4技能』の確実な育成」(中)

- ・学級担任や専科教員が主体となって行う授業づくりの継続と指導の充実を図る。(小)
- ・指導方法等についての研修を全教職員で協力して行い、指導力の向上を図る。(小)
- ・小学校での学習内容を踏まえて、「英語4技能」をバランスよく確実に育成する。(中)

キャリア教育 「地域と連携したキャリア教育の推進」

- ・望ましい勤労観・職業観が育つよう、他の教育活動との連携を図り、ねらいを明確にした体験活動等を位置付けるとともに、事前や事後の指導を充実する。
- ・キャリア教育について全教職員の理解を深め、育成すべき能力や態度を重点化するとともに、児童生徒の発達の段階に応じた全体計画及び年間指導計画を工夫改善する。(キャリアパスポートの活用)

特別活動 「指導計画の工夫改善」「指導と評価の工夫改善」「学級経営の充実」

- ・児童生徒が自己の生き方について考えを深め、新たな目標や課題がもてるよう指導計画を工夫改善する。
- ・児童生徒が自発的、自治的な活動を展開し、自分のよさや可能性を発揮して、よりよい生活や人間関係を築くことができるように指導と評価を工夫改善する。
- ・学級の諸問題を解決する活動を通して、望ましい人間関係や学級集団としてのまとまりを高め、安心な居場所としての学級経営の更なる充実を図る。

【安全・安心】

生徒指導 「★教育相談力の向上」「魅力ある学校づくりの推進」

- ・教育相談的な生徒指導体制の整備を図るとともに、不登校やいじめ、その他諸問題に対して組織的に対応する体制を構築する。
- ・授業の充実を柱に、児童生徒が充実感を味わい、安心できる居場所づくりに努める。
- ・児童生徒理解に努め、変化を捉えた際には、関係職員と連携を図り、迅速かつ適切な対応を行う。

人権教育 「様々な人権問題に対する『認識力』『自己啓発力』『行動力』の育成」

- ・「いじめは絶対許さない」という全教職員の共通理解に基づいた、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める。
- ・様々な人権課題の解決に向けて、研修等を通して教職員の人権感覚を高める。
- ・「ひびきあい活動」を核とし、年間を通して思いやりのある温かい人間関係を醸成する。

健康教育 「健康の保持増進」「食育の推進」「食に関する安心・安全」

- ・児童生徒が自ら進んで運動する習慣を形成し、体力の向上に努める。
- ・学校給食を通して、食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付ける食育指導の充実を図る。
- ・全教職員が食物アレルギー等食の安全に関する正しい知識を身に付け、適切な対応ができるよう研修の充実を図る。

防災教育 「防災に対する教職員の専門性の向上と安全管理体制の確立」「『自他の命を守る』ことにつながる安全教育の実施」

- ・全教職員の防災について専門性を高め、地域・保護者・関係機関との連携体制の構築など、学校の安全管理体制を強化する。
- ・学校危機管理マニュアル等をより実行性のあるものに改善する。
- ・児童生徒が、自他の命を守り抜くことができる安全教育の充実を図る。

【園・学校経営で大切にしたいこと】

○機能的な運営体制の確立

→教職員一人一人が責任を自覚しつつ、機能性のある運営体制を確立し、チームで対応する園・学校を構築する。

○子供の命を守り抜く危機管理体制の確立

→子供の命を守り抜くことを最優先に考え、危機意識を共有するとともに、情報を一元化するなど、適切かつ確実な危機管理体制を確立する。

○教育内容の質的向上を目指したデータの蓄積・分析と課題改善に向けたPDCAサイクルの確立

→教育活動の成果を測るための適切な指標を設定し、計画・実施・評価・改善のサイクルを機能させ、教育内容の質の向上を図る。

○長時間勤務・多忙化解消に向けた取組の一層の推進

→時間外勤務時間が月45時間以内となることを目指し、教職員が笑顔で子供と向き合える園・学校体制を構築する。

○服務規律の徹底

→誇りをもって職務に当たれるよう教育公務員としての使命を自覚し、自らの行動に責任をもつ意識の向上を図る。

【特色ある教育活動】

学力アップ プログラム

自分のことは自分でできる生活習慣・学習習慣づくり

- ・よりよい生活習慣の定着を図る。
- ・学力の定着を図る授業を進め、授業とつながる家庭学習を指導する。
- ・時間を決めるなど、インターネットやゲームと適切な関わり方ができる子供を育成する。

絆プラン

読書に親しみ、本を活用しようとする態度を養う

- ・日常的に読書に親しむ時間を確保する。
- ・園・小学校では読み聞かせ等を積極的に行う。
- ・小・中学校では読書記録を残す取組を進める。
- ・本に親しみ、本を活用できる学校図書館等の環境整備を行う。

中津川市 命の教育

自己肯定感と人間関係力を構築する力の育成を図る

- ・教育活動のあらゆる場面で「命の教育」を念頭においた指導ができるよう、校内研修（伝達講習）を通して教職員の意識向上を図る。
- ・全児童生徒が実際に端末を使いながら情報モラルの重要性を理解する教育の充実を図る。

岐阜 サマーサイエンス スクール

未来を担う人材の育成を図る

- ・これからの社会を担う生徒が、科学のおもしろさ、不思議さ、楽しさを実感し、科学への興味関心を高めることを目指す。

ふるさと 教育

すご技中津川
プロジェクト

生徒会
サミット

キャリア教育・ふるさと教育の充実を図る

- ・地元企業を知り「すご技」に触れることを通して、地域への愛着と誇りを育む。
- ・企業見学当日の指導だけではなく、事前・事後の指導の充実やキャリアパスポートの活用などを通して、主体的な進路選択の基盤を育む。

参画意識・課題解決意欲・情報発信力を高める

- ・市内各中学校のリーダーたちが、与えられたテーマについて議論し、まとめ、情報を発信する。事前に自分の意見の根拠となるデータ等を調べる。これらの活動を通して、個の力を高め、各校へ還元する。

園・学校 の連携

発達や学びの連携・支援に必要な情報の共有

- ・発達や学びの連続した教育活動が展開できるよう、園・学校間の積極的な連携を図る。
- ・幼児期と小学校の円滑な接続のため「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえて、ジョイントカリキュラムを実践する。
- ・障がいのある子供について、個別の教育支援計画・個別の指導計画を活用して情報共有する。